

患者の皆様へ

2024年9月14日
リハビリテーション部

リハビリテーション部では、圧迫性頸髄症の歩行障害に対する術後急性期の歩行リハビリテーションの効果に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2019年4月1日～2024年8月31日まで当院に入院され整形外科で胸髄症と診断され手術後にリハビリテーションを実施された方

1. 研究課題名

「圧迫性胸髄症の歩行障害に対する術後急性期の歩行リハビリテーションの効果：ケースシリーズ研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2025年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当院では、圧迫性胸髄症に対し手術を受けられた方に対し、歩行機能の向上を目的に術後早期からリカンベントエルゴメーター（自転車の形をした運動器具）および吊り下げ型体重免荷式歩行器、トレッドミル（屋内でランニングやウォーキングを行うために使用される運動器具）を使用した歩行リハビリテーションを実施しています。本研究では、歩行リハビリテーションの短期的な効果を検証することを目的としています。

情報収集の方法は、診療記録より診療記録から過去の記録を収集し調査を行います。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えた情報は千葉大学リハビリテーション部で解析がおこなわれます。氏名等と研究IDとの対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、転倒歴、頸髄症の重症度、歩行能力
リハビリテーション時に実施された評価および内容

評価：筋力、10m 歩行速度、バランス評価

内容：リカンベルトエルゴメータ、トレッドミル歩行、筋力増強練習、起居動作練習、
立位練習、歩行練習、階段昇降練習

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：リハビリテーション部 准教授 村田 淳

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

リハビリテーション部 理学療法士 深田 亮

043 (222) 7171 内線6642